

「新・宇宙無限力体得コースステキスト会場」

8:45

スタッフ集合・打合せ

参加者名簿・タイムテーブル・意識合せ(真我瞑想)

9:15

開 場

開始までに事前カルテをご記入いただく、書いて頂いたものを講師に渡す

9:57

椅子を持って前に集合 「間もなくスタートしますので、椅子を持って前にお集り下さい」

(集合後)「心の中で真我の実践」を唱えながら、暫くお待ちください」

10:00 【オープニング】

(10:00 丁度に)それでは、静かに目を開けて下さい。

皆さん、おはようございます。

本日は真我開発講座「宇宙無限力体得コース」にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

私は、司会進行を務めさせていただきます、○○と申します。どうぞ宜しくお願いします。

私ども心の学校グループでは、本当の自分、つまり真我を開発する「真我開発講座」を30年にわたり開催しております。多くの方が、この「真我開発講座」を受講され、「真我」に出会うという素晴らしい体験をされています。

そしてさらに、現実生活に戻ってから、仕事面、生活面であらゆる実践面で、奇跡としか思えないような、非常に高い成果を上げています。

この、本当の自分、真我を自覚する「真我開発講座」は世界中どこを探しても類を見ない、画期的な講座です。

その特徴として、「**体感、体得、体現**」ということが上げられます。

何かの教えを教わるとか、知識を植え込んで理解するといったような、良い教えを頭にインプットするのではなく、すでにもう皆さんの中に内在している素晴らしい本当の自分、「真我」を引き出す、つまりアウトプットしていく、今までのものとは全く反対のやり方です。

本日実際に体感していただきますので、最大限に期待をして、積極的にご参加してください。

効果的に真我を開いて頂くポイント、コツがございますのでお話させて頂きます。

■真我を体感するポイント・グランドルール・タイムテーブルを読む

(講師紹介)

それでは、講師を紹介します。本日の講師の〇〇です。それでは宜しくお願ひ致します。

【講師挨拶】

それでは 挨拶をします。(全員が立ったのを確認して)

宜しくお願ひします。

ご着席ください。(全員が席に着いたのを確認して)

ただいまより、真我開発講座「宇宙無限力体得コース」を始めてまいります。

私は本日、講師を担当させていただきます、〇〇と申します。

どうぞよろしくお願ひします。

はい、それではさっそく初めて参ります。

ここでは、「真我開発講座」、真我を開発するということをやっております。それを最初にされたのは、佐藤康行先生です。約30年以上前からこの真我を開発するということ、その一点をずっとやってこられました。

真我というのは本当のあなたです。愛そのもの光そのもののあなたです。

あなたのにある無限の自分を引き出すという事をやっていきます。

講師は何をするかというと、お産婆さんです。皆さんのお真我を引き出すお産婆さんです。

ここで成果を上げるための、大事なポイントを三つお伝えいたします。

それは、「積極的に」「素直に」「最後までやりきる」、この三つです。

まず、「積極的に」と言うのは、皆さんのが、自分事として取り組んでいかないと、1ミリも心が掘れて行きません。今日一日、書くことで心を掘っていっていただきますが、皆さんのが自分で書いて心を掘っていっていただきます。講師はそのお手伝いをさせていただきます。

そして二つ目は、今まで皆さんが学んできたことは、一旦横に置いて、講師が言うとおりに素直に取り組んで頂きたいと思います。あまりご自分の考えを出さず、言われたとおり素直に書いて頂くと早いです。

そして、最後までやりきる。

心を掘っていく中で、内在していた色んな自分が出てきます。

その時に、「好転反応」と言って、頭が痛くなったり、お腹が痛くなったり、気分が悪くなったり、怒りが出てくる、涙が出てくる、もうやりたくないくなる、帰りたくない…など色々な心が出てくることがあるかもしれません、それは、効果が出てきている証拠なので、そこで辞めたりしないで、最後までやりきってください。手術中に途中で帰るとかえって大変ですよね？なので、最後までやりきっていただくと、すっきりとしていただけだと思います。

ですので、今日一日、今までやったことないくらい真剣に取り組んでみて下さい。

こんな自分は初めて、という感じで最後まで、思いっきり踏み込んでやり切っていただくとても良いと思いますので、ぜひ「積極的に素直に最後まで」やっていただければと思います。

そして、この講座は、誰かに感謝をするということを目的とするものではありません。

途中でああもう十分満足だ！！と思った時にこそ、踏み込んでやってみてください。

たったの6時間半です。

また今日は色々な方が参加されていらっしゃると思いますけれども、今まで何回も受けた方も、真我は無限です、今日が初めてという気持ちで取り組んでいただければと思います。なので、今日初めての方も、再受講の方もスタートは同じです。

皆さん次第で無限の真我を引き出すことができますので、そういう思いで皆さん踏み込んでやっていただければと思います。よろしいでしょうか。

決して難しいことはいたしません、すべて皆さんの中にあるものを出す。

出てくるものはすべて良しです。

真我を開発するということを今日初めてされる方は、今までの人生では体験した事のないことだと思いますので、多分、分からなかったり、これでいいのかなって思うことが、多々あるかと思います。その部分は遠慮しないで、講師に質問してください。

そして、この「宇宙無限力体得コース」は、佐藤先生が編み出されたものですので、佐藤先生の映像で進めてまいります。

佐藤先生がもちろん本当の意味でのメイン講師です。すべて誘導していただきますし、佐藤先生の言霊と佐藤先生のワークで、さらに引き出されていくと思いますので、素直に取り組んでいただきたいと思います。

佐藤先生が講師でされるというのは、映像の中ですけれども、目の前にいらっしゃると思ってやっていただきたいと思います。映像の中で、誘導されるワークは、そのままワークをしてください。途中、映像を止めて、私が補足させていただくところもありますので、宜しくお願ひ致します。

そして、途中で佐藤先生が「どうですか？」と問いかけられるところもありますので、積極的に自分事として、手を挙げて答えていただいて、もう、1対1で受講している感覚で、佐藤先生を独り占めして、今日一日やっていただけたらと思います。

今日はそういう形で、一日進めてまいります、よろしくお願ひいたします。

それでは、これから佐藤先生の映像を見ていただきます。

10:10

映像スタート

・「宇宙無限力体得コース」誕生秘話 【学長映像】

・「第一念・第二念」

0:00:00:「はい、皆さんこんにちは、佐藤康行です。どうぞよろしくおねがいします。私が真我開発講座を始めて一番最初に…」

10:25

・「ゴミ箱記入」【学長映像】

・「先祖代々前世からの見えざる強烈な因縁のゴミ出し」

不安心配取り越し苦労…このゴミ箱の用紙におもいっきり書き殴ってください。書ききれなかつたら裏に…誰にも見せないでください。どうぞ好きなこと書いてください。よろしいですね。」

「講師が案内します」

映像0:15:56 ストップさせる

映像を停止する

※講師誘導

はい、それではここからこのゴミ箱を書いて頂きます。

お手元にこの「先祖代々からの見えざる強烈な因縁のゴミ出し」という用紙を出してください。

書き方は、ここに来られるきっかけになったような、悩み、苦しみ、問題。

今、自分の中にあるものは、みなさんしか分からぬと思います。こんな自分が嫌だとか、こんなことで苦しいとか、私の周りの人はいつもこうだとか、みなさんがこう普通に感じていることがあると思います。

それを文字にして書いてください。

綺麗な字で書く必要はありません、吐き出す感じで。どんな事を書いてもいいというのがこのゴミ箱です。

きれいに書こうとしないで、みなさんの中にある物を、全部すっきりさせる感じで書いて頂くので、感情的になって構いません。

誰に見せるものではありません。ゴミ箱ですので、字はぐちゃぐちゃで、全部ひらがなで結構です。文字にならなくてもいいです。出来事の説明はいりません。あの時いじめられて辛かった、悲しかった、悔しかった、腹が立った

感情を紙にぶつけるように書いてください。

だから、上手な文章にしなくていいです。要は、そのゴミを捨てたら、本当の自分が出やすいという心のしくみになっています。

まずは、今、あなたの中にある辛い苦しいという、あなたしかわからない心を思いっきり書き出して頂きます。それには、スピードが大事です。あまり考えずに、15分間でやっていただきます。

質問のある方いらっしゃいませんか？

はい、それでは15分しかありませんので、おもいっきり吐きだして下さい。

それでは、どうぞ

(記入時間) 15分

スタート

手を止めないことがとても大事です。

手の動きと脳は直結していますので、書いているうちにでてきます。

～間～

書きながらお聞きください。

「辛かったんだよ、苦しかったんだよ、なんでわかってくれなかつたんだよ、ばかやろう、大嫌いだ、お前のせいだ死んじまえ」普段使わないような汚い言葉も使って、思い切り書きなぐってください。

特に、面と向かっては絶対に言えないこと、抵抗のあることを、心の中でさけびながら、心の中を空っぽにするつもりで思いっきり書いてください。

何を書いてもいいです。いつの時代の事でもいいです。

子供の頃の恨んでることとか、いやだった事とか、イジメられたこととか。

今思い出したら凄く嫌な気持ちになる、そういうことを書いた方がいいです。

(記入時間)

誰に見せるものでもありません。

それから両親の事、父母に対して正直になってください。

お父さんのあそこが嫌いだと思ったら思いっきり書いてください。

お母さんに対しても、夫に対しても妻に対しても、バカヤローって言っていいんです。

一番安心な真我にたどり着くためのものなので、安心して吐き出してください。

書いていて心が揺さぶられそうなところがあったら、そこをもっと書いてください。

なんでなんだよー！

(記入時間)

綺麗な字で書く必要ないですよ。字はぐちゃぐちゃでいいです。

自分に対して「何でこんな私なの？」って思ってるんだったらそれを書いて下さい。

ここは、とても大事です。

(記入時間)

こんな事、誰にも言ったことがないといった事を書くと良いです。

自分でもびっくりするくらいのものが出てきますので、どんどん書き進めてください。

書いているうちに、苦しくなる方もいらっしゃるかもしれませんけど、それをまたどんどん書くんです。出てきた思いをどんどん書くんです。これはあなたしか出来ません。

(記入時間)

同じことを何度も書いていいんですよ。とにかくペンを走らせる。頭あまり考えないで。
今まで言えなかったこと、その相手が目の前に出てきたら言ってやりたいこと昔の事でも
いいです。

(記入時間)

あと5分です。更にスピードアップしてください。
心の中を空っぽにするつもりで、さらに勢いよく感情的になって書いてください。
これを言ったら相手を怒らせる
だから言わずに我慢していたこと
絶対口に出して言えなかっただこと
どんなことでもOKです

あと1分です。

(タイマー音)

ゴミ出し終了(ピピピピピ)

はい、ありがとうございました。
それでは一旦ペンを置いてください。
はい、ありがとうございます。

今から佐藤先生の映像を見て頂きますが、ゴミ出しをする前と今と、すっきりした、というのでも、怒りがこみあげて苦しい、などでも何らかの心の変化があった方は、佐藤先生の問いかけに手を挙げてみてください。

もし、今なんか苦しいということでも変化があったということですので、確実に掘れているということですので、安心してすすめてください。

それではまた、佐藤先生の映像を見て頂きます。

【学長映像】

映像スタート

0:16:00 動画を再生「はーい、ありがとうございました。書いててですね、少しでも心がぐらついたって方…」

※講師誘導

太陽ワープ①

0:16:20『太陽ワープ』と字幕が出て、講師の案内の文字が出たらストップ

※映像停止

それでは、今度は、この「太陽ワープ」という用紙を出してください。

なぜ「太陽ワープ」というワークをして頂くかと言いますと、真我は目に見えない心の事です、自分がどんなに変化しているのかがわからないまま進むよりは、要所要所で、こんなに変化してるんだって事が、自分で確認できた方がいいんです。

なので、今ゴミ箱に書いて頂いた事を、ぎゅーっと圧縮して、要は、いつもこういう事を自分は思つていて、心の中にあるんだっていう事をこの用紙の1番下、赤い枠で囲ってある1番の左側に書いて下さい。

これは、みなさんが分かればいいので、そんなに長々と書く必要はないです。

凝縮して一言で集約して書いて下さい。

今抱えている一番の問題点、又は過去の最悪と思える出来事というところに書いて下さい。

タイマーセット 5分

はい、どうぞ。

(記入時間)

いつもこういう事を自分は思ってるんだという、あなたが分かる感じでいいです。

説明じゃなくていいです。

(1分後くらいに)

書けましたでしょうか？はい、書けた方は、その右側あります予想される未来1という右側です。

その()の中そこは、あなたの名前をフルネーム書いて下さい。

そして、今、左側に書いたその心、その出来事が、ずっと未来に、明日も未来ですし、一ヶ月後も未来、1年後、3年後、10年後ずっと、その心が続いていたら、あなたの未来はどんなになるか、その問題を抱えたまま、これから人生を歩んでいったら、どんな未来が待っているか、人間関係、健康面、寿命、色んな意味でどうなるか想像して、書いてみてください。

分らない方がおられましたら、手を挙げてください。

お名前を書いて頂くのは、自分の問題として捉えて頂くためです。
自分で自分の変化を認めるために、素直に書いてください。

(記入時間)

(1分後くらいに)

左の出来事がずーっと続いて、その心でずーっと生きていたらどんな未来になるか、予想してみて下さい。

左側は、今ゴミ箱を書いた、それをまとめたもの、そのまんまずーっと続くと、これがどういう未来になるかっていう、そこまで書いて頂きました。

書けましたか？

ピピピピピピ

はい、ありがとうございました。

それでは佐藤先生の映像を見て頂きます。

【学長映像】

映像スタート

0:16:34 学長映像再生「そういう未来が来ちゃいやだっていう方、手を挙げてください。…」

0:16:53「神から見た〇〇」解説

『神から観た〇〇の解説 膝さすりのワーク』

「私は最近よく、人間の意識を変えるのは、50階建てのビルに例えてよく言います…」

・「ラッセル・シュワイカート」

11:00

0:24:41

「神からみた家族」

「神からみた両親」

(ももたろうの絵を書いてくれたおとうさん、の話、そして学長の背中流しの説明もされ

る、よーいスタート、亡くなったお父さんでも全部魂に届きますから、環境的に声を出して
も言い方は声をだして下さい)

「背中流し」

0:31:14 映像流しっぱなし…お父さんありがとうございます、お母さんありがとうございます
いますって、背中を流すつもりで感謝をして言ってください。5分ほどやります。…魂の
底から大きく叫んで、環境が言い方は声をだして叫んで」

映像そのまま

両手を動かしてください。体と脳は直結していますので、両手をしっかりと動かすことで、それだけ
入りやすくなります。

「おとうさーん、ありがとうございます
おかあさーん、ありがとうございます」

0:33:35(思いっきり天に届くように…もっともっと…父母の顔を浮かべて完全に一
つになってください。みんな神の愛そのもの、ひとつ。そうです。もっと。心を全開にする
んですよ。天に届くように叫んでください)

0:33:41

あなたにとって、世界に、ただ一人しかいないお父さん、お母さんです。

0:34:26(完全に内観光受状態になって…魂の底から叫んでください。背中を感謝い
っぱいで父母先祖の背中をながすような…)
0:34:46

休まず、休まず、おもいっきりです。

あなたの言葉あなたの魂を振り動かしてください。

天に届くように！！！

おかあさーん、ありがとうございます。

おとうさーん、ありがとうございます。

ごめんなさい、ごめんなさい！！！

0:35:00(涙が出てきた方は押さえないでください…この涙は神の涙…業カルマ因
縁ゴミが洗い流されている証拠です。その調子…そうです…がんになるもとが消えます。
根っこが消えます。)

0:36:52 で学長のピピピピ(はーいありがとうございます)、そして映像は続く。

映像止めない

0:36:27 背流しから続きで学長映像が続く「〇〇との過去の思い出し」の用紙

はい、ありがとうございました。それでは、その勢いで〇〇との過去の思い出しという用紙があります。その用紙を出してください。父母はじめ色々な人から愛を受けた。だから、父母でもいいし、兄弟でも誰でもいい。夫でも妻でもいい。過去の思い出し。カッコにそれを書いて、愛を受けたこと。

逆に恨んだり、憎んだりしたこと。どちらでもいいです。これは裏表ですから、愛しているから恨むのです。憎むのです。妬むのです。嫉妬するのです。だから、愛と恨み、憎しみは裏と表ですから、どちらでもいいです。浮かんだ方をこちらに書いてください。

過去の自分を愛を受けたこと、または恨んだり、憎んだり、怒ったりしたことを思い出して、どちらでもいいから書いてください。0:37:49 **映像一時停止**

▲※映像停止

※講師誘導

「〇〇との過去の思い出し」

次に「〇〇との過去の思い出し」という用紙をお出しください。

ここで書いて頂く「〇〇との」この〇〇に入る人というのは、この後のメインワークの所で、とても大事になってきます。なので、直感で、あなたが一番愛を受けたなあと、今すぐ思い浮かぶ方がいいかと思います。

父か母がいいという風に佐藤先生は仰っていましたけど、初めての方はお父さん、もしくはお母さんでやっていただくのがいいと思います。

ですが、もし、わだかまりがあるようでしたら、別の方でやっていただいて結構です。

例えば未来内観の時は、この人でやったから、今日はこの人という選び方ではなく、わだかまりが極めて少ない人を直観で選んでくださると良いです。

お一人、決めてください。

その方をカッコの中にお一人書いてください。その方との過去の思い出しになります。

お一人に決めていただいて、そして真ん中に線があって、左側が愛を受けた事、右側が恨んだり憎んだりしたこと。

あなたが本当にやってもらって嬉しいと、素直に思えた事は愛を受けた事。

そして、もっとこうして欲しかった、何でしてくれなかつたという想いがあることが、恨んだり、憎んだりしたこと、という風に右側に書いて頂ければいいと思います。

佐藤先生はこの真ん中の線はない、とおっしゃいます。

感謝している心と同じように、恨んだり憎んだりする心も、それだけ愛しているからこそです。

究極的にはどちらも愛なんだとおっしゃいます。

だからと言っても、悪い思い出って思うこともあると思います。

その時は右側も書いて頂いて構いません。

出来るだけ左側の愛を受けたことに集中して頂けたら良いと思います

ここで大切なことは、この講座がその方とのわだかまりを解消するためのものではないということです。人間関係を修復するためのものではなく、ただひとつ、みなさんの真我を引き出す目的でやっています。

ですので、今日は極めてわだかまりの少ない人でやって頂き、左側の愛を受けたことを中心に書いていただくと真我が拓きやすいです。ということになります

そして特に、当たり前と思っていることの中にこそ、深い愛がこもっているかもしれません。

一項目づつ箇条書きでたくさん書いてみてください。

誰でやるか決まらない質問のある方、いらっしゃいませんか？？

7分間です、その方との色々な事を思い出すつもりで書いて下さい。

7分タイマースタート

それでは、どうぞ

(記入時間)

例えば、お弁当作ってくれた、ご飯作ってくれた、色々習わしてくれた、それから、おもちゃを買ってくれた、運動会の時は応援に来てくれた、病気した時はお見舞いに来てくれた、色々その方にしてもらった事、いつの時代の事でも構いませんので、昔にさかのぼって思い出しながら、沢山書いて頂きたいと思います。

(声かけ)

色々な所連れて行ってくれた、勉強教えてくれた、毎日車で送り迎えしてくれた。

自分がすごく落ち込んでいる時に、一緒に泣いてくれた、話をよく聞いてくれた、心配してくれた、色々あると思います。とにかく思い出してください。

(記入時間)

忘れているような事も、あーこんなことしてくれたなあ、箇条書きで沢山書いてみて下さい。
でも、あのとき殴られたなあ、あれはひどかったな、やりたい事反対されたなあ、お金出してくれなかつたなあ。
そういう事は恨んだり憎んだりした方に書いて頂いて構いません。
書きながら思い出した時に、グッと来るような事、あーそうだったんだって、そういうのも大事です。
あー忘れてたけど、そうだったんだ。あなたしか分からない、その方との思い出です。
これは、だれも見ませんので、正直に書いて頂くのがいいです。
あなたは全部覚えています。

あと2分です。どんどん思い出してください。

その中から、今回、宇宙無限力初めて受けられる方は、愛を受けた事を中心にその中から三つくらい、「あーこれを思い出すと凄いジーンと来るな」とか、「あーこの時嬉しかったな」と思うものを三つくらいに○をつけておいてください。
全部は盛り込めませんので、あなたにとって1番、2番、3番。
ちょっと選んでみて下さい。

(記入時間)

(タイマー音)

はい、書けましたでしょうか。はい、それでは一旦ペンを置いて下さい。

この先に進みます。また映像見て頂きます。

11:19

映像スタート

「神から観た〇〇」【学長映像】37:58

一旦停止して補足説明、書き方例もあり 38:10

※講師誘導

ここから、「宇宙無限力体得コース」のメインパートです。

「神から見た『〇〇』」というワークを通じて、あなたの真我を開発するという事をやりますので、ここが一番大事なところになります。

ポイントを先にお話しします。

「神から見た『〇〇』」という用紙を出してください。

佐藤先生もご説明されますけども、その前に、一応要点を説明させていただきます。

その書き方のポイントです。

① テーマの〇〇は基本的にどなたでも結構ですが、お父さんかお母さんでされるのが効果があります。これは、お父さん、お母さんのどちらが欠けても今のあなたはいない、あなたの原点だからです。ですが、取組みやすいのは、極めてわだかまりの少ない人ですので、今日書いていただいた方で結構です。

② 先ほど書いた「過去の思い出し」の紙を見てください。

その方との「過去の思い出し」の左側、愛を受けた事を中心に、あなたにとって、「ああ、これ嬉しかったな」、「この時は特にありがたかったなあつ」、「この時は大変な思いをさせたなあ」と、思うもの愛を受けたと感じることを直観で3つくらい選んで下さい。

そして、全部は盛り込めませんので、あなたにとって1番、2番、3番を選んでみて下さい。正確な順番でなくてかまいません、直観で1, 2, 3と番号ふってみてください。

どうしても選べない方は上から、1, 2, 3でも構いません。

そして、より詳しく具体的に思い出して頂きます

③ その内容を「神からみた〇〇」の書き方例を参考に書いていく、という流れです。

11:45

「神から観たお母さん」見本

映像スタート 38:15

映像共有 0:37:29 「神からみた〇〇」

0:37:40 神からみた暗闇の中の文字『「神からみた〇〇」の書き方のポイント』

・・・真我を拓く方法もあなたの中で知っています。書いているうちにわかります。」(約 4)

分くらい)

映像一時ストップ 41:57

「神から見た〇〇」書き方見本説明

それでは、

この「神からみた〇〇の書き方見本」お持ちでしょうか。

こちらを用意してください。

ない方いらっしゃいませんか？？

これを見本にあなたの「神から観た『〇〇』」を書いていただきます。

神から観た〇〇の、〇〇はあなたが普段読んでいる呼び方で書いてください。

たとえば、お母さんを、ママと読んでいるならママ、かーちゃんならかーちゃんと書いて頂く方がぐっと入れます。

そしてあなたのお名前を書いて頂きます。

そしてポイントがあります。

この太字になっているところは必ず書いてください。

焦点合わせをするためにとても大事になってきます。

この 1, 2, 3, 4, 5 行。

「私は神でした。お母さん、あなたも神だったんですね。

私とお母さんは神としてひとつだったんですね。

お母さんが私にしてくれたことは、

親だから当たり前だと思っていたけれど、そうではなかったんですね。

あれこそまさに、お母さんの無償の愛を通して見せてくれた神の愛だったんですね。

ああ、今までが気つきませんでした。本当にごめんなさい」

お母さん以外の方がテーマの場合は、お母さんの部分をその方に変えてください。

お父さんなら、お父さんです。

必ずこのように最初の 5 行は丸写しで毎回必ず書いて下さい。

あなたの中にある神の心、真我を引き出すために、この言葉が凄く大事です。

普段から神だと思って生きている人はいないと思います。

なので、「神でした」と言葉の力を使って事実を言い切って書く、ということです。

そういう意味で、この 5 行は必ず使ってください。

そして、その下です、さきほど過去の思い出しから2つか3つ選んでいただいた印象にある出来事

を具体的に、盛り込んで書いていきます。

はい、それでは、過去の思い出しから、出来事を一つ選んでみて下さい。

軽く目を閉じてください。

そのエピソードを丁寧に、思いだしてみてください。

それは、いつ頃のことだったのでしようか、その時、どんな状況だったのでしようか、その方は、その時どんな表情だったのでしようか、その方はどんな思いで、どんな気持ちで、それを作ってくれたのでしょうか、想像してみてください、目の前にその方がいるかのように、ありありとその時のことを見出してください。

はい、それでは目を開けてください。

このように、過去の思い出をありありと思い出してから、書き始めるとスムーズに一気に書きあげられます。

その過去の思い出を使って、例えばお母さんがお弁当を作ってくれたというエピソードですと、お母さんは、毎朝お弁当を作ってくれた。

1人だけじゃなく、兄弟3人分を毎朝作ってくれていた。

それは、どのくらいの間だったのか…中学校、高校と6年間だった。

お母さんは何時に起きて作ってくれていたのか…

自分が起きるよりも早く起きて作ってくれていたから、何時に起きていたのかも知らなかつた…
おかげで毎日違うものをいってくれていた…

私の好きなものを入れてくれた…

お母さんがどんな思いで毎日作ってくれていたのかなんて考えたこともなかつた…

疲れていても作ってくれた…

休みの日なのに作ってくれた…

と、思い出していく。

そして、正直に、それなのに、自分はお弁当に文句ばかり言っていた…

それでも毎日作ってくれることを、親なんだから当たり前としか思っていなかつた。

お母さんに感謝なんてしていなかつた。と、まず自分の気持ちを正直に書いてみてください。

もし、それが愛と思えないのでしたら、それを愛と思えませんでした、と正直に書くことです。当たり前くらいに思っていたら、親だから当たり前としか思っていなかつた、と、正直に書いてください。

そして、ここからがポイントです。

「でも、そうじゃなかつたんですね、今日初めてわかりました。あれこそまさに、お母さんの無償の愛を通して見せてもらっていた神の愛だったんですね。」と、必ず「神の愛」と言い切ってください。

出来事に対して、こんな風に思っていたけれど、そうじゃなかった、これは神の愛だった、と、言い切って書いて頂くことがポイントです。

「私は感謝が足りなかった、ホントにごめんなさいお母さん」と、ごめんなさいも使ってください。無限の愛と感謝が引き出されるので、形からで良いので、ごめんなさいを使ってください。

そして、神の愛だったと言い切った時に、自分の中から湧きあがってきた思いを、ご自身の言葉で、一挙に書きあげてみてください。

書き方見本にもありますが、2つか3つのエピソードを書いて、紙1枚がうまるような感じです。

その一つ一つのエピソードに対して、こう思っていたけど、そうじゃなかった、必ず「神の愛だった」と言い切って書いてください。

普段の考え方とは違うことをしますので、書き方見本をわきに置いて、最初の5行は丸写しで構いません。何回か書くうちに少し慣れてきたら、見本は見ないで、自然と出てくる自分の想いを書いて頂いても結構です。よろしいでしょうか？

始めるにあたって、何か質問ある方いらっしゃいますか？

そして、もうひとつのコツはスピードを持って書くことです。消しゴムも使わず、全部ひらがなもいいです。頭を働かせないこと。スピードをもって書くことがコツです。

まず、どんな感じか、やってみたいと思います。

「神から見た〇〇」作成

学長映像停止

これからは、一枚書けた方は、講師のところに持ってきてください。

それでは、「宇宙無限力体得コースメインパート・神から見た〇〇」スタートします。

書けた方からお持ちください。

【神から見た〇〇】スタート

講師による引き出し

12:10

それでは、ここから昼食休憩をとらせて頂きます。昼食後は、この「神から見た『〇〇』」を何回もやって頂き、真我をさらにさらに深くしていきます。

それでは、30分間と短くて申し訳ありませんが昼食休憩をとらせて頂きます。
〇時〇分までですね とさせて頂います、5分前の〇時〇分には、お戻りください。

そして、今、ものすごく深い部分を掘っています。
出来れば、家族の方との会話は禁止です。携帯電話の使用は極力控えてください。

それでは挨拶します。
『ありがとうございました。』(お辞儀をする)
はい、みなさん休憩に入ってください。

====休憩==== (30分)

12:40

それでは、「宇宙無限力体得コース」メインパートを始めてまいります。

背筋を伸ばしてください。挨拶をします。
よろしくお願ひします。

※講師誘導

はい、ここから引き続き「神から見た〇〇」になります。
これから、何回も書いて頂く中で、あなたの真我を開発していくという、画期的なカリキュラムに

なっています。

ここでポイントをもう一度お伝え致します。

ポイントは神である、という答えを先に言い切って書くことです。

思ってから書くものでも、感じてから書くものでもなく、書いているうちにあなたの中にある神の心が出てきます。というものです

まずは、必ず 入れて頂きたい言葉が この最初の5行です。

「神から見た『お母さん、おとうさん』」。テーマを選んで頂いた方のお名前を書いて頂いて、

「私は神でした。お母さん、あなたも神だったんですね。

私とお母さんは神としてひとつだったんですね。

お母さんが私にしてくれたことは、親だから当たり前だと思っていたけれど、

そうではなかったんですね。

あれこそまさに、お母さんの無償の愛を通して見せてくれていた神の愛だったんですね。

ああ、今までが気づきませんでした。本当にごめんなさい」

そう思えなくとも「神の愛でした」と、先に言い切って書くということが、ポイントです。

これがもう、究極の答えなんです。

1番高い意識次元から、神意識から見た時の答えです。

答えからやっていくというのが、佐藤先生のやり方、全部逆からやっていくというものです。自分の視点からいくら神を見ても、人間の心は不完全なので、完全な神を見ても不完全にしか見えないという事です。

それから、普段から感謝しているという方もいらっしゃるかもしれません。

それは大変素晴らしいことです。そういう方は、感謝しています、と書くのではなく、あなたがしてくれたことに、感謝しているつもりだったけれど、私の感謝ではまだまだ感謝が足りませんでした、ごめんなさい、これも先に言い切って書くことで、あなたの中にある無限の愛、無限の感謝が湧きあがってきます。

これはもう完全にあなたの中の神視点、真我から見た言葉です。

この言葉を使う事によって、みなさんの中にある神の心、真我を引き出します。

だから、この言葉が凄く大事です。

そして、その下です、過去の思い出しを参考に、テーマに選ばれた方と、ご自分との 思い出を詳細にしたもの、ここに書いて頂きます。2つか3つ、入れられたら入れてください。

そして、必ず、その出来事の最後に書いて頂くのは、親だから当たり前だし、もっとこうして欲しいとか思ってたけど、でもそうじゃなかった。

その、お母さんにやってもらった事、過去の思い出しで書いて頂いたひとつひとつは、「お母さんの無償の愛を通して見せてくれていた、神の愛だったんですね。」と必ず『神の愛』と言いたい切ってください。

そして、言い切った後に、湧きあがってきた愛の思いを一挙に書きあげてください。

自分事にするために、必ず自分の名前も忘れずお書きください。

顕在意識、潜在意識の奥に真我という完全な神意識、宇宙意識があるという大前提です。

なので、今までの意識次元では、お母さんはこういう人で、もっとこうしてくれたらいいのにいつも思っていた、そして、この人はこういう人だとか、自分もこうだとか、これが苦しいだのあーだのって、そういう人間の心で捉えていた世界です。

そこでは、問題は解決できないんです。

だからこそ神から、全ての人は神なんです、佐藤先生はそう言い切ってらっしゃいます。

神だなんて思えない。今はそう思ってらっしゃると思いますけど、だからこそやる、だからこそ言いたい。ここが、佐藤先生のカリキュラムの凄い所です。

思うんじゃないんです。言い切るんです。なぜなら、それが真理だからです。

ですから、あまり、どうかな？こうかな？神ってなんだろう、あまり思い悩まない方が良いです。これはどういう意味なんだろうとか、そんな思えないけどなどとか、もう、言い切って書いてみて下さい。

そして、自分の出来事だけは、詳細に思い出して書いて頂いて、ただ書くだけではなく、色々してくれて嬉しかったけど、なんか文句言っちゃって、素直に表現出来なくて、その時お母さんに暴言はいたら、お母さんその時凄く悲しそうだった。でも、その後も自分に優しくしてくれて、それでも自分は、いつもいつも素直になれなくて……。

これは例えですけれど、あなたの中にそういう出来事があったら、そのところを深く掘って書いて頂くと、何回もやって頂くうちに、深い愛の心が出てきます。

ですから、さっき書いて頂いた物と同じものを書いて頂いても結構です。一つの事を何回も書くうちに、どんどん深くなっていくという手法です。

それでは、ここからは1枚書けた方は、講師のところに持ってきてください。

書いてみてどうだったかを講師に言っていただきます。

引き出しスタート

13:46

※1 時間前に「あと1時間です」と伝える

14:46

はい、それでは、一旦ペンを置いてください。

その場で姿勢を正して、軽く目を閉じてください。

心の中で「真我の実践」を唱えていただきます。よーい、スタート！（真我の実践、真我の実践……）

（2分間）

・**真我の実践を唱える**

（2分後）はい、ありがとうございました。

14:48

そして、「太陽ワープ」の用紙をお手元に出してください。

『太陽ワープ②』

左側 1 番で問題だと思って書いたものを、今的心で見た時、どのように捉えられるか、それをその上の左側の②(まるに)に書いてみてください。

佐藤先生は、小さな変化を大きく認めることだと仰ります。少しでも変化したと思うことを書いてください。

タイマー2分セット

どんな小さなことでも構いません。
あっている、間違っているというのではなく、素直に書いてください。

40秒くらい経過後

左側が書けた方は、その心で、2番の予想される未来も書いてみてください。
名前も書いてください。
そして書けた方は1番と2番を見比べてみてください。

びびび2分経過

いかがでしょうか？
書けましたでしょうか？

はい、ではまた佐藤先生の映像を見ていただきます。

【学長映像】

映像スタート

0:48:44から再生「みんな変わった変化したって方手をあげてください…。生まれ変わ
る。皆さんはどこまでもどこまでも素晴らしい未来を作り出すことができる…。神ですべ
てを変えた。凄いでしょ、皆さん」(映像約1分)
~0:49:42で映像ストップ！！

■手を挙げられない人や、苦しそうな人がいた場合

はい、ありがとうございました。
もし、変化を感じられないという方も、
ご自身で気付かれていないだけで、間違なく変化されています。
何かをやって、心が変化していないということはありません。
もしも、プラスではなく、マイナスに感じるような心であっても、それは蓋が外れて、隠れていたも
のがでてきたということで、とても順調な証拠です。佐藤先生は、「あー、いいじゃないですか、すば
らしい、掘れている証拠ですから」と、仰います。

14:55

それでは、
この「神の自覚」の紙をご用意ください。
今から佐藤先生の映像を見て頂きます。

「神の自覚」【学長映像】

0:48:55 映像スタート 26分間位

「あのー、昔ね、もう亡くなられたけど、サイババっていう人がいましたよね。サイババって
いう方は、こういう風に言って大衆の前で一時ブームに…」
神の自覚参考①…なぜなら私の目の前には自由自在の…私の神よありがとう』
…それでは、神神神って唱えてください…
じゃあもうひとつ
神の自覚参考②…ずっとこれからも最高です。創造主よ、父よ、母よ、兄よ、友よ…あり
がとうございます。
同じように自分の神の自覚…その神を満月に置き換えてもいいです。
…
毎朝読んだら、どんどんカルマが消えていきます。あなたの神の自覚です。」
映像1:14:42 ストップさせる 14:30位まで

映像をストップ

※講師誘導

はい、それでは
あなたの「神の自覚」を書いて頂きます。

今日、朝から「神からみた」を書いて頂き、そして今、佐藤先生の映像を見ていただいた今の心で、
この「神の自覚」のパート、取組んでみてください。
「神の自覚」という見本が 1 枚入っているかと思います。
全く分からないという方は、これを真似して頂いても構いません。真似して書いて頂く中で、呼び水
となって自分の中から、出てくればいいですし、最後までこれを丸写しでもかまいません。

「神から見た」のパートでもそうですが、まず、紙に書く、とにかく書き始めることがコツです。

ここで質問ある方、また書き方見本のない方はいらっしゃいませんか？

書いた物は見えるところに貼って頂き、繰り返し、毎日読んでいただきたいものです。そのような思いで、神そのものだと言い切って、あなたの「神の自覚」書き上げてみてください。

タイマー10分セット

自分の直観で書いていける方は自分なりの「神の自覚」を書いてください。

人間として生かされているところをよく見て頂くと、書きやすいです。

残り5分

あと 5 分です。

ぴぴぴぴ タイマー音

はい、ありがとうございました。それでは一旦ペンを置いて下さい。佐藤先生の映像を共有させて頂きます。

【学長映像】

映像スタート

1:20:28 ストップ「太陽ワープ③」へ講師が誘導します！！まで

15:37

※講師誘導

太陽ワープ③

太陽ワープの用紙を出して頂いて

今の心で一番上を書いて下さい。

左側が書けた方はその予想される未来、右側も書いて下さい。

必ずあなたの名前も書いてください。完結に書いてください。

タイマー2分セット

書けた方は 1 番、2 番、3 番を見返してみてください。

書いたことをどうぞ認めてください。

自分で自分の変化を認めることが真我開発で重要です。

小さなことでも変化しているんだって認めることで、認めた方にどんどん変化していきます。

タイマー音

それでは最後の佐藤先生の映像をご覧頂きます。

15:42

【学長映像】

映像スタート

【質疑応答】

15:50

【まとめの講話】

1:20:30 映像スタート

・…はい、ありがとうございました。またお会いしましょう、ありがとうございました。」佐
藤先生の映像終了 1:35:24 (15分間)

映像ストップ

映像はここまでです

15:55

◆感想発表10分

それでは今からおひとりずつ今日やってみての感想発表をして頂きたいと思います。

おひとり〇〇秒ほどで(参加人数などにより調整)でお願いします。

タイマーをかけさせて頂きますので、ピピピとなりましたらまとめに入って終了してください。

それでは〇〇さんお願いいします。

ありがとうございました。

ハイ、皆さんありがとうございました。

今日1日で なんとかっていう、そんなものではなくって、『最高の自分に出会って、その最高の自分で残りの人生を生きるというのが、生まれたことの目的だ』と佐藤先生は、はっきりおっしゃっていますので、これからがここからがスタートということになるかと思います。

今までされてきた方も、更なる深い自分と言うか、素晴らしい自分でと表現して日常生活、人間関係全てに表して行って頂ければと思います。

16:10

◆橋渡し

それでは、ここから真我を開き続けて、黄金の道に進んで頂く為の、今日この 6 時間半の中で一番重要なパート、大切な橋渡しの話をさせて頂きます。

橋渡しとは、真我に意識を向ける、真我に焦点を合わせるということです。

例えば、死ぬほど好きな人と、来年の春結婚するとなった時に、もう今から幸せになりますよね？見るものも聞くもの、すべてがその日のためのものになってくる。そのように、次に佐藤先生に会う日を決める、真我開発講座の日程を決めると、今この瞬間から幸せになる、今この瞬間から真我に意識が向きます。そうすると、それが現象面を作っていくので、受講するまでの時間がすべて講座状態になります。そういう意味で「橋渡し」した瞬間から講座は始まりますので、真我からブレない一番大事なコツもあります。

ですが、「橋渡し」はお申込みではありません。チェックを入れていただくことで、真我に意識を合わせるということになります。実際の正式なお申込みは、実践会のマイページからお申込みいただいて、ご入金を以ってお席が確定いたしますので宜しくお願い致します。

それでは、ご案内していきます。

16:30

それではお時間になりました。挨拶をさせて頂きます。

それでは、姿勢をただしてください。

佐藤先生は「どれだけ凄いことが起きても真我は無限ですから…」と仰っています。

今日の講座でも皆さんに確実に真我が開きました。

ですので、ご自身のペースで結構ですので、何度も何度もご受講いただいてご自身の真我をより深くより強く引きだして頂ければと思います。

皆様の真剣な取組み姿勢のおかげで素晴らしい講座になりました。
これをもちまして『真我開発講座 宇宙無限力体得コース』を終了いたします。
本日はどうもありがとうございました